

福祉学習支援プログラム

心のバリアフリーを育てよう！



社会福祉法人 台東区社会福祉協議会

台東ボランティア・地域活動サポートセンター

～目 次～

1 ページ	目次
2 ページ	福祉学習支援プログラムの申し込み方法について

↓↓↓福祉学習支援プログラム

3 ページ	福祉学習支援プログラム①「ボランティア講話」
4 ページ	福祉学習支援プログラム②「車いす体験」
5 ページ	福祉学習支援プログラム③「講話・交流・アイマスク体験」
6 ページ	福祉学習支援プログラム④「手話体験」

7 ページ	福祉学習支援プログラム申込書 兼 事前打合せシート
-------	---------------------------

taito council of social welfare



『はっぴい』

福祉学習支援プログラムの申込方法について

本紙をお読みになり、是非このプログラムを活用したいと希望される場合は、下記の手順に沿ってお申込みください。

1

本紙の最終ページに掲載の「福祉学習支援プログラム申込書兼事前打合せシート」に必要事項を記入し、FAXまたはメールにて送付ください。（福祉学習支援プログラム申込書兼事前打合せシートは台東社協のホームページよりダウンロードできます）

2

台東社協の担当者より電話連絡をさせていただきます。この際、申込書兼事前打合せシートをもとに、聞き取りを行います。（この際、先生が授業を通して何を生徒に学んでほしいかなどをお聞かせいただきます）また、打ち合わせの日程調整を行います。

3

事前打合せを行います。（必要に応じて授業協力者の方にも同席していただきます。）顔合わせ、必要事項の確認、備品の確認、会場の確認などを行い、双方で情報共有を図ります。

4

プログラム準備、連絡、調整など事前打合せを行います。授業に使用する資機材や道具の事前搬入などを行います。

5

プログラムの実施。

6

プログラム完了の報告。
プログラム参加者の感想などをいただきます。（アンケートや感想文形式でも可）協力者およびスタッフ間で参考にさせていただきます。

※プログラム申込書は2か月前までに
FAXで申請してください♪



福祉学習体験プログラム①

プログラム名	<h1>ボランティア講話</h1>
	東日本大震災後、改めてボランティアの大切さ、必要性が見直されています。では実際に私たちは「ボランティア」をどの程度知っているのでしょうか。「ボランティア」というテーマを通して、私たちが身近にできることについて考えていきます。

1	内 容	「ボランティアとは」、「ボランティアと奉仕の違い」、「ボランティアの考え方」、「身近なボランティア活動」、「災害ボランティアから学ぶこと」など、様々な切り口からお話させていただきます。
2	講 師	<講 師>台東区社会福祉協議会職員
3	会 場	学校の体育館、教室など
4	時 間	概ね 50 分程度
5	費 用	特になし
6	必要物品	PC (DVD閲覧可能)、プロジェクター
7	備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にPC動作確認などを行います。 ・実施後の感想文などを送っていただくなど、生徒の感想をお聞かせください。

<都立高校での講話の様子>



質問1 ボランティアの経験はありますか？

- ① ボランティア経験がある
- ② 経験はないが、やってみたい (興味はある)
- ③ 経験はない、あま

まとめ

○自分の都合や生活に合わせて活動できるのが特徴です。義務的に活動する必要はありませんが、責任は伴います。	○「誰かの力になりたい」その思い(共感)がボランティア活動につながります。
○相手のために行うのがボランティア活動です。決して自分のためや学校のためではありません。	○どんなに小さな行動でも、その思いは相手に届いています。

ボランティア活動

福祉学習体験プログラム②

プログラム名	<h1>車いす体験</h1>
	車いすを押すこと、車いすに乗ることの双方を体験することで、車いすを利用している方の気持ちを理解し、バリアフリーや自分たちに何ができるのかを考えるきっかけにさせていただく。

1	内 容	体育館に車いすを通るコース（スラローム・上り坂・下り坂・狭い道・悪路）を作り、押す役・乗る役の双方を体験していただく。また、車いす体験を待っている生徒用に心のバリアフリークイズを配布する。
2	講 師	<講 師>台東区社会福祉協議会職員 <講師補助>福祉学習協力ボランティア
3	会 場	学校の体育館など
4	時 間	概ね 90 分程度 *生徒数による
5	費 用	特になし
6	必要物品	車いす、資料、コース作成に伴う機材（カラーコーン、踏切板、踏切調節板、平均台、マットなど） ※車いすと資料は社協で準備
7	備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の後片付けにご協力ください。 ・車いすの運び入れ、運びだしに伴う、車の駐車スペースの確保をお願いいたします。 ・実施後のアンケートにご協力ください。

台東区役所福祉課でも、こころのバリアフリーの普及・啓発教育の一環として、高齢者疑似体験を実施しています。お問合せは福祉課まで。

<小学校での車いす体験の様子>



福祉学習体験プログラム③

プログラム名	<h1>講話・交流・アイマスク体験</h1>
	視覚障害者と一緒に、様々な角度（物理的・社会的・心理的）から障害に触れ、障害者への理解を深めるとともに、生徒自らが新たな価値を創造・発見し、より良い社会について考えていく。

1	内 容	体育館を使って、視覚障害者理解の講話、視覚障害者との交流（視覚障害者とゲーム、点字体験、視覚障害者用日用品の紹介など）、アイマスク体験を通して視覚障害者の体験とガイドヘルプ体験を実施する。
2	講 師	＜講 師＞台東区視覚障害者福祉協会 NPO法人ガイドヘルプあいサポート（アイマスク体験担当） ＜協 力＞台東区社会福祉協議会
3	会 場	学校の体育館など
4	時 間	概ね 90 分程度 *生徒数による
5	費 用	交通費、講師謝礼金
6	必要物品	アイマスク、白杖、マイク、アイマスク体験コースに伴う備品（カラーコーン、パイプ椅子など）
7	備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・授業実施前に学校・社協・団体の3者での事前打合せを実施します。 ・物品の運び入れ、運びだしに伴う、車の駐車スペースの確保をお願いします。 ・実施後のアンケートにご協力ください。

＜都立高校でのアイマスク体験の様子＞



福祉学習体験プログラム④

プログラム名	<h1>手話体験</h1>
	聴覚障害者と一緒に、様々な角度（物理的・社会的・心理的）から障害に触れ、障害者への理解を深めるとともに、生徒自らが新たな価値を創造・発見し、より良い社会について考えていく。

1	内 容	聴覚障害者理解の講話、聴覚障害者との交流（手話を使っのゲーム、しりとりなど）。
2	講 師	<講 師>台東区聴覚障害者協会 <協 力>台東区社会福祉協議会
3	会 場	学校の体育館、教室など
4	時 間	概ね 90 分程度 *生徒数による
5	費 用	交通費、講師謝礼金
6	必要物品	特になし
7	備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・授業実施前に学校・社協・団体の3者での事前打合せを実施します。 ・実施後のアンケートにご協力ください。

<都立高校での手話体験の様子>



福祉学習支援プログラム申込書 兼 事前打合せシート

月 日() 記入

学校名			担当の先生		
連絡先	TEL:	FAX:	メール:		
対象学年			人数(内訳)		
実施希望日時 (第1希望)	年	月	日()	時	分(分間)
実施希望日時 (第2希望)	年	月	日()	時	分(分間)
場所					
希望する プログラム名					
プログラムを通じ 何を学んで欲しいか					
プログラムに 希望すること					
担当の先生と連絡が 取りやすい時間帯	曜日 / 時 分 ~ 時 分くらい				

<申込みの際の注意事項>

- ・希望するプログラムによっては、謝礼金などが発生する場合があります。具体的な金額については団体へ確認後のお知らせとなります。
- ・実施日の2ヶ月以上前の申請をお願いいたします。講師のスケジュールの都合もありますので、ご希望に添えない場合もあります。
- ・対象者の人数が多い場合は、2回に分けて実施するなどの調整が必要になる場合もあります。
- ・授業実施前までに最低1回以上は事前打合せを行うこととなります。日程調整等でご協力いただきますので、予めご了承ください。